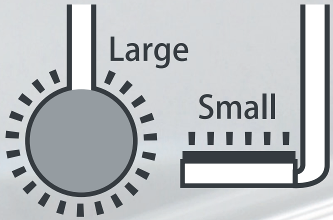
ガラスボールフィルター

Glass Ball Filter

AG!
All Glass Innovations



広い噴射面積

球状フィルターのため、気体の噴射面積が広い。

均一に拡散

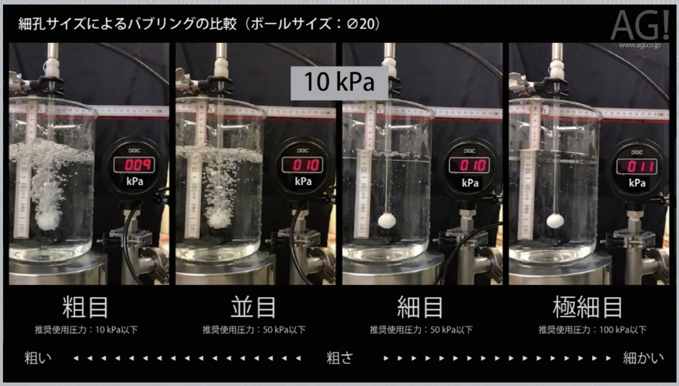
フィルターの細孔が均一なため気体が均一に拡散します。

優れた耐薬品性

ホウケイ酸ガラス製のため、酸などの薬品に侵されることがありません。
（フッ酸、リン酸、約 40℃以上のアルカリ溶液除く）

MOVIE

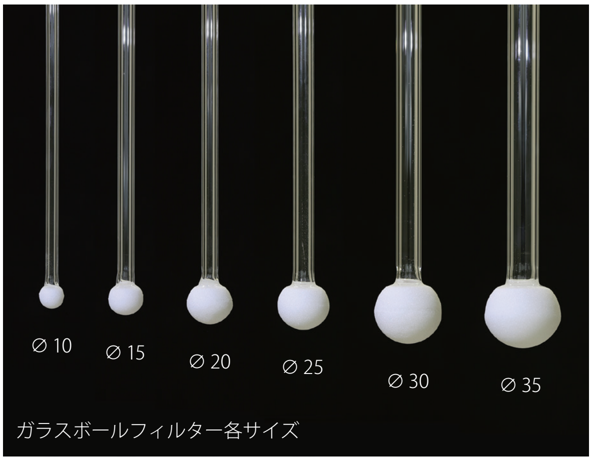
ガラスボールフィルター　バブリングの比較

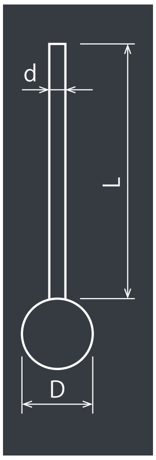


AG!　ガラスボールフィルター

http://www.theglassplant.com/l-movies08.html

株式会社　旭製作所
www.agi.co.jp





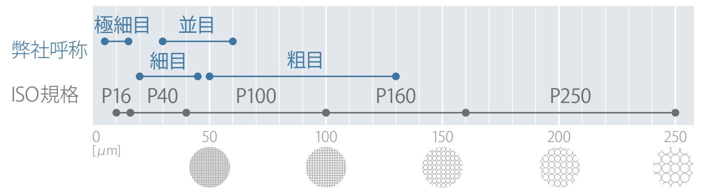
価格・仕様

コード No.	D	d (mm)	L (mm)	細孔	価格
3907-10/1	∅ 10	6	250 (± 5)	粗目	
3907-10/2				並目	
3907-10/3				細目	
3907-10/4				極細目	
3907-15/1	∅ 15	8	250 (± 5)	粗目	
3907-15/2				並目	
3907-15/3				細目	
3907-15/4				極細目	
3907-20/1	∅ 20	8	250 (± 5)	粗目	
3907-20/2				並目	
3907-20/3				細目	
3907-20/4				極細目	
3907-25/1	∅ 25	10	250 (± 5)	粗目	
3907-25/2				並目	
3907-25/3				細目	
3907-25/4				極細目	
3907-30/1	∅ 30	12	250 (± 5)	粗目	
3907-30/2				並目	
3907-30/3				細目	
3907-30/4				極細目	
3907-35/1	∅ 35	16	250 (± 5)	粗目	
3907-35/2				並目	
3907-35/3				細目	
3907-35/4				極細目	

・推奨使用圧力値以下での使用を想定しております。これ以上での使用は破損の可能性がありますのでお控えください。<推奨使用圧力値：0.01 MPa (粗目) / 0.05 MPa (並目 , 細目) / 0.1 MPa (極細目) >
・管とチューブの接続部を、抜け漏れを防ぐラボチューブ仕様にできます※1。ご相談ください。
・管の長さ (L) の変更は短縮のみ可能です（延長は不可）※2。
※ 1 特注対応にて承ります。ただし管径 (d)16 は対象外です。
※ 2 特注対応にて承ります。

細孔記号

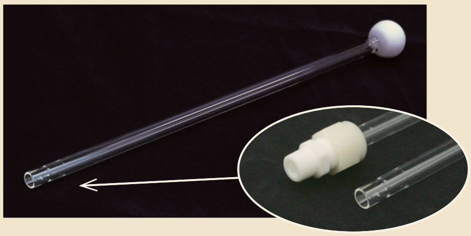
細孔記号	粗目	並目	細目	極細目
細孔の大きさ（μ m）	130 ～ 50	60 ～ 30	45 ～ 20	15 ～ 5
粗さ	粗い ⇔ 細かい			
ろ過速度	速い ⇔ 遅い			



ラボチューブ Laboratory Tubing

ガラス管の継手におすすめです

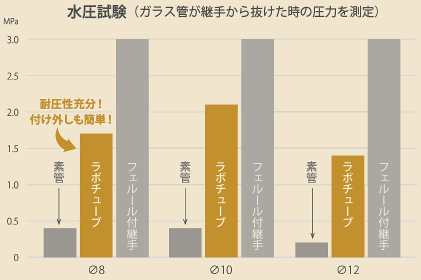
ガラス管と PTFE、金属等の接続に最適
漏れ・抜け軽減　取り付け簡単



これまでは実験・研究において、ガラス管と PTFE 等の継手の接続では、「抜けやすい」という問題がありました。また、フェルール付の継手を使用すると、抜けにくくはなりますが、付け外しが面倒でした。
「ラボチューブ」はガラス管に特殊加工を施す事で、これらの問題の解消に成功。これにより、抜けにくく、簡単に付け外しが可能な配管接続を実現します。

しっかり固定

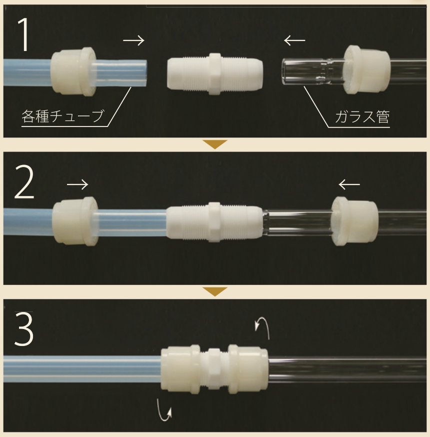
水圧試験（ガラス管が継手から抜けた時の圧力を測定）



ガラス管径	素管	ラボチューブ	フェルール付継手
∅ 8	0.4 MPa	1.7 MPa	> 3.0 MPa
∅ 10	0.4 MPa	2.1 MPa	> 3.0 MPa
∅ 12	0.2 MPa	1.4 MPa	> 3.0 MPa

・測定温度：室温
・締付トルク ∅ 8：0.5 N·m、∅ 10：0.8 N·m、∅ 12：1.0 N·m
・素管・ラボチューブ使用継手：Flowell 30 シリーズメイルコネクター (R3/8)
・3.0 MPa まで測定（フェルール付継手は 3.0MPa でも破裂・破損・抜けなし）
※上記の数値は測定値であり、保証値ではありません。

取り付け簡単



使用継手：Flowell 30 シリーズ　ユニオン
※他社製の継手を利用すると漏れや抜けの原因となりますので、弊社推奨品をご使用ください

AG! All Glass Innovations
株式会社 旭製作所
本社・工場　〒864-0025 熊本県荒尾市高浜1978
TEL 0120-595-996
FAX 0968-68-2125
URL www.agi.co.jp
E-mail info@agi.co.jp

○掲載商品の仕様・価格・デザイン等は予告なく変更する場合がございます。
○カタログ発行　2022 年 11 月　ASAHI221103